



さかた

令和5年8月1日

市議会だより

第76号



「庄内出羽人形芝居(酒田市指定無形民俗文化財)」

6月定例会

法人立保育所等施設整備事業、
新型コロナウイルスワクチン接種対策事業などによる補正予算を可決

ホームページはこちらから

酒田市議会

検索



目次

4月臨時会の概要、各委員会審査、6月定例会の概要、 各委員会審査、議会活動日誌、政務活動費の公表について	…… P2 ~ 3
一般質問/14人が登壇	…… P4 ~ 8
4月臨時会・6月定例会審議結果一覧、請願・意見書審査結果一覧、 議会改革、委員会活動報告	…… P9 ~ 10
傍聴案内、9月定例会の開催予定	…… P11
編集後記	…… P12

4月臨時会

令和5年4月27日
会議期間1日間

審議された議案等

●市長提出案件……………8件

令和5年度一般会計補正予算（第2号）をはじめ、右記議案等を審議しました。

議案は、総務・民生常任委員会、予算特別委員会の審査を経て本会議で採決が行われた結果、可決、同意、承認されました。

常任委員会

4月27日に総務・民生常任委員会を開催し、議案4件を審査しました。

総務常任委員会

報第5号専決事項の報告について（酒田市税条例の一部改正）のほか、報第6号の議案2件を審査しました。

審査の結果、いずれも原案を妥当と認め、全会一致で承認すべきものと決定しました。

民生常任委員会

議第41号酒田市介護保険条例の一部改正についてのほか、議第42号の議案2件を審査しました。

審査の結果、いずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

予算特別委員会

4月27日に議第39号令和5年度酒田市一般会計補正予算（第2号）のほか、議第40号の議案2件を審査しました。

今回の補正は、低所得世帯や低所得の子育て世帯に対する給付金および小中学校の感染症対策を行う経費の計上、ならびに定期航路事業特別会計への繰出金の増額が主なものでした。

審査の結果、いずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

6月定例会

令和5年6月9日～6月22日
会議期間14日間

審議された議案等

●市長提出案件……………11件

●請願……………1件

●議員提出議案……………1件

●その他……………1件

令和5年度酒田市一般会計補正予算（第3号）をはじめ、右記議案等を審議しました。

議案は、各常任委員会、予算特別委員会の審査を経て本会議で採決が行われた結果、可決されました。

請願1件は採択となりました。

常任委員会

6月14日に各常任委員会を開催し、議案7件と請願1件を審査しました。

総務常任委員会

議第45号酒田市税条例の一部改正についてのほか、議第47号から議第49号までの議案4件を審査しました。

審査の結果、いずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

民生常任委員会

議第46号酒田市印鑑条例の一部改正についてを審査しました。

審査の結果、原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

建設経済常任委員会

議第50号物品の取得について(除雪ドーザ)のほか、議第51号の議案2件を審査しました。

審査の結果、いずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

請願第2号食料・農業・農村基本法の見直しに関する請願は、全会一致で採択すべきものと決定しました。

予算特別委員会

6月15日に議第44号令和5年度酒田市一般会計補正予算(第3号)を審査しました。

今回の補正は、認定こども園の施設整備に係る補助金の増額、新型コロナウイルスワクチン個別接種促進支援金の計上および農業関係の補助金の増額が主なものでした。

審査の結果、原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

Diary

議会活動日誌

4月

- 11日 民生常任委員会研修会
- 12日 議会報編集委員会
- 18日 議会報編集委員会
- 20日 各常任委員協議会
- 21日 議会運営委員会
委員長会議
- 27日 **4月臨時会**
本会議
総務・民生常任委員会
予算特別委員会
議会運営委員会
各常任委員勉強会

5月

- 11日 議会改革推進特別委員会
- 16日 民生常任委員勉強会
- 18日 議会改革全議員研修会

6月

- 1日 全議員勉強会
各常任委員協議会
各常任委員勉強会
- 5日 議会運営委員会
- 9日 **6月定例会(～6/22)**
本会議
議会運営委員会

- 13日 全議員勉強会
- 14日 各常任委員会
各常任委員協議会
総務・建設経済常任委員
勉強会
- 15日 予算特別委員会
議会運営委員会
- 19日 本会議
議会報編集委員会
- 20日 本会議
議会運営委員会
- 21日 本会議
全員協議会
- 22日 本会議
- 27日 全議員研修会

政務活動費の公表について

政務活動費は、会派等を対象に、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として議員1人に対し、月額2万5千円を交付しています。

政務活動費報告書は平成28年度分から市ホームページで公表しています。なお、当該年度分の報告書を翌年の5月末までに公表することとしています。公表する内容は、収支報告書、支出内訳書、領収書などです。

令和4年度政務活動費収支

(単位：円)

会派	新政会	志友会	共産党市議団	令和会	市民の会	市政研究会	無会派
収入	2,700,000	1,725,000	600,000	600,000	600,000	825,000	300,000
支出	1,120,182	1,267,225	249,023	42,245	236,569	258,842	0

※残額は市へ返還になります。

詳しくは市ホームページをご覧ください。



一 般

質 問

一般質問とは…

市政全般に関する状況や方針を質問し、報告や説明を求めたり、疑問を明らかにするもの。



6月20日から22日に計14人が質問を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

財政健全化を皆で考えていきたいと思います



松本 国博 議員

問 令和5年度から5か年の中期財政計画が示され財政健全化を進めていくとある。令和5年単年度では合併特例債の償還の公債費（借入金返済）は、22億円。インフラ整備に使われた合併特例債の事業を再度市民の皆さんに知っていただく必要があると考えるが所見を伺う。

答 総務部長 合併特例債がなければ、※ミライニ、新庁舎、新斎場の改築は実現しなかった。また学校改築事業なども耐震化問題に終止符を打ち、進展した事業の一つである。この合併特例債を使えたからこそ今の本市があると考えており、合併特例債の事業一覧の可視化や残高状況の周知も今後対応していきたい。

問 今回の財政健全化計画では投資的経費が圧縮され、野球場の雨漏りなど施設の管理保全経費などが心配されるが所見を伺う。

答 総務部長 投資的経費をしっかり確保し、有利な財源を活用しながらやっていきたい。細かい積み上げは財政計画上できていない状況だが、長期的視点を持ちながら、しっかり対応していく必要があると考える。

他の質問

中学校における高等学校進学の進路指導と学習意欲の維持と学力向上



アランマーレ山形 V1公式試合の本市での開催を



伊藤 欣哉 議員

問 アランマーレ山形V1昇格は市民に大きな勇気を与え、地域振興につながる有効な資源となり得る。本市には、V1リーグ開催に必要な規模要件を満たす施設がなく、本市をホームタウンとしながらも、本市での公式試合の開催ができない状態である。要件を満たすアリーナが必要と考えるが所見を伺う。

答 地域創生部長 アリーナ事業を運営することが地域創生の起爆剤になり得ること、母体企業が本市の雇用の非常に大きな受け皿になっていることから、庁内内部にプロジェクトチームをつくり、アリーナの建設が可能か検討を始めている。検討の中では、市民から理解されるコンセプトを作れるか、建設資金



スパイクを打つ選手 (アランマーレ山形提供)

設置場所、運営方式など、今の多様な仕組みの中でできることをまとめながら今後、母体企業と協議を進めていくための検討をしている。

他の質問

川南地区の小中学校再編、中学校部活動の地域移行



※ミライニ：酒田駅前観光交流施設 ミライニ

文化芸術による まちづくり



岩尾 隆博
議員

問 文化芸術がある場には、人が集まり地域に活力が生まれ、他の自治体との差別化、アピールにもつながり、まさに公的な取り組みとされる分野だと考える。本市では、文化芸術振興をどのように考え、市内の芸術家を把握し連携を行い振興に当たっているか伺う。

答 **文化政策調整監** 本市では、酒田市文化芸術基本条例の制定に合わせ文化芸術推進計画を策定し、市民が等しく文化芸術活動を行うこと、親しむことができるよう、小学校などへの^{※1}アウトリーチ、地域コンサートなど自主事業の実施、市内芸術文化団体との連携や音楽団体への支援など文化芸術の振興を図っている。文



地域コンサートの様子

化芸術の振興には、多様な主体との協力が必要であり、引き続き、市民が文化芸術活動を行い、また、享受できるような環境の整備を図っていき

他の質問

地元業者優先発注の現状、
東京藝術大学との連携



水道の漏水のための 減免基準は条例で規 定する必要はないか



斎藤 周
議員

問 水道料金の減免は、酒田市水道事業給水条例で規定されており、減免できる場合とできない場合については、内規で規定されている。例えば、国民健康保険税の減免は、条例で減免できることが規定され、別表で減免基準が規定されている。水道料金の減免基準は、条例の中で規定する必要があるのでないかと考える。鶴岡市では内規で計算事例が示されており、せめてこの程度は示す必要があると考えるが所見を伺う。

答 **上下水道部長** 漏水による水道料金の減免は、地方公営企業法や水道法の上位法令に規定はなく、減免方法などを定めた基準がない。水道事業者の対応では、条例で減免や使用水量の認定を規定し、減免基準など使用水量の認定に必要な事項は、各事業者の裁量により要綱、規定を設けるのが一般的である。本市でも、減免や使用水量の認定を条例で規定し、減免基準などの必要な事項は、要綱の中で定めている。漏水発生時の料金の一部減免制度などは市ホームページや水道広報などで繰り返し周知している。計算方法なども公表するように改善をしていきたい。

他の質問

子ども医療費助成の
財政負担の軽減問題



男女が共に働きやす く暮らしやすい まちの実現を



大壁 洋平
議員

問 本市では男女共同参画社会の実現のため、酒田市男女共同参画推進計画（ウィズプラン）を策定している。令和5年度は見直しの年であるが、これまでの総括と見直しについて所見を伺う。

答 **地域創生部長** 令和4年度市民アンケート調査では、男女の不平等意識はあまり変わっていないが、男女が共に尊重して生きていく意識が地域社会に浸透し始めている。今後も根底にある^{※2}アンコンシャス・バイアスの気づきや解消を念頭に置き、地域に合った男女共同参画計画について市民と話し合いを進めたい。

問 海外に比べて日本は無償労働時間が長い傾向があり、海外ではハウスキーパーや食器洗浄機などを利用し、家事の合理化や外注を行っている。家事・子育ての負担を減らすため、家事・子育て時間の可視化や無償労働時間を減らす取り組みについて伺う。

答 **地域創生部長** 家事シェアのススメというパンフレットの製作による見える化の取り組み、時短家事セミナーの開催や出前講座での紹介など周知啓発に努めている。

他の質問

職場・家庭での男女共同
参画への分析と取り組み



※1 アウトリーチ：積極的に働きかけをし支援の実現を目指すこと

※2 アンコンシャス・バイアス：固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み

鳥獣被害防止対策

「猟友会との連携・支援」



齋藤 美昭
議員

問 令和5年になり、熊の目撃、被害の報道が多い。6月に最上川河川敷で熊の駆除が行われた。鳥獣被害防止対策の実施部隊である「猟友会」の現状と本市との連携状況を伺う。

答 市民部長 猟友会とは、年3回程度意見交換の場を設け、令和4年度は県内で唯一、クマ出没対応の机上訓練を実施した。会員の約6割が60歳以上となっており、会員の高齢化とともに、会員数も減少傾向にあると認識している。

問 猟友会加入には狩猟免許が必要で、取得費など相当額の負担と聞いている。県猟友会では負担軽減事業を行っており、各市町村でも独自に支援事業を行っている。県内で支援事業を行っていないのは、本市を含め2市町であるが、本市の今後の考え方を伺う。

答 市民部長 狩猟免許取得者については、新規の免許を取得する費用のほかにも経費、かかり、費用の面においては、決して負担が少ないとは考えていない。各市町村を参考に今後負担軽減のため、助成制度を検討していきたい。

他の質問

飛鳥の特定有人国境離島地域への指定に向けた取り組み



酒田市総合防災訓練の現状と今後の方向性



安藤 浩夫
議員

問 令和4年度より総合防災訓練が、全地区での自律的な避難所開設、運営、地区防災計画の策定など、より実践的となり、従来と比べて大きく変わった。自分たちの地域は、自分たちで守る「共助」への意識改革の第一歩と考えるが、訓練を終えての検証、課題を伺う。

答 危機管理監 高齢者や障がい者などの要支援者の避難に関して課題が見えてきた。福祉企画課と連携し、その方々に対する個別避難計画を早期に策定していきたい。

問 今年度よりコミュニティ振興会、自治会、民生委員および消防団との連携調整を行い、避難行動要支援者への対応も含めた訓練も視野に入れているが、今後の総合防災訓練の方向性を伺う。

答 危機管理監 6月にコミュニティ振興会、消防団への説明会を行った。この取り組みをきっかけとして地域住民と消防団が連携を図りながら、要支援者の人命救助の体制を整えていきたい。令和6年度は、過去2年の実績を踏まえ、総合防災訓練の質の向上をさらに検討し、訓練内容の充実を図りたい。

他の質問

複合災害の被害軽減への取り組み



有機農産物を学校給食に位置付けを



市原 栄子
議員

問 国が推奨している有機農業産地づくり推進事業「オーガニックビレッジ事業」に関しては、市長の施政方針で「スマートオーガニックシティ（仮称）」の中で取り組まれることが示されている。国はオーガニックビレッジの取り組みの中で販路の一つとして学校給食を示している。本市における学校給食での地元農産物や有機農産物の利用状況を伺う。

答 農林水産部長 本市の学校給食では、米や牛乳は100%庄内産を使用している。根菜類や葉物野菜は、生育状況や季節により地域の食材を使うこともあるが、地元産食材の利用率は、重量ベースで70%以上を維持している。なお学校給食での有機農産物の利用状況は把握していない。

問 本市もオーガニックビレッジの計画の中に有機農産物の給食提供を位置付けるべきと考えますが所見を伺う。

答 農林水産部長 本市では、有機栽培米の作付面積が減少しており、供給量確保など課題が多いと考えている。この取り組みにより、地域でまとまった産地となれば、学校給食への提供も検討できると考える。

他の質問

児童生徒・保護者に寄り添う学校（運営）、自然と共に暮らす本市の危機管理



酒田港の振興は



問 クルーズ船が酒田本港地区に寄港することで徒歩圏内でのまちなか誘導と市内観光ができる。また市民の入出港時の歓迎は、本港地区だからこそその強みとなる。本港地区への寄港の可能性を伺う。

答 地域創生部長 本港地区への寄港実現には、ハード・ソフト両面から対応が必要となる。本市重要事業要望として県に要望しているが、明確な見通しは示されていない。一方で令和6年に本港地区への寄港を検討する船会社からは、海上でゴムボートに乗り換え上陸したい意向が示されている。

問 クルーズ船の寄港は、24か月前に決定する場合もある。令和6年度の予定を伺う。



外国クルーズ船

答 地域創生部長 旅行代理店などが公表した商品としては、令和6年度の外国船は4月3回、5月2回、日本船が5月1回で計6回の予定を確認している。

他の質問

コンテナ貨物取扱量の状況、市外企業の周知



丸山市政 2期の総括



問 総合計画は「賑わいも暮らしやすさも共に創る公益のまち酒田」を目指して、①人口減少の抑制、②市民所得向上、③酒田市内に住み続けたいと思う市民を増やすの3点を目標に掲げている。令和2年1月には、国内で新型コロナウイルス感染症が確認され、困難な市政運営が強いられたが、これまで結実してきた事業の具体的な事例と今後これらの実現が地域に及ぼす効果について伺う。

答 市長 産業振興まちづくりセンターサンロクの開設、鳥海山・飛鳥ジオパークや北前船寄港地の日本遺産の認定、酒田※DMOの設立、Digi田甲子園での内閣総理大臣賞の受賞などを達成でき、この産業力、交流力、発信力の強化が今後の酒田の発展につながることを確信している。

問 人口減少や厳しい財政運営が続く本市の取り組みべき課題は何か。

答 市長 今後の課題は、税収増につなげる産業政策を進め、福祉施策の充実を図っていくことであると考えている。観光資源や文化芸術活動などをさらに磨き上げ、その相乗効果により産業振興の成果を上げて欲しい。

他の質問

表題以外の質問はありません



いじめ問題への 的確な対応



独立した窓口の設置を

問 文部科学省のいじめに関する調査によれば、いじめの認知件数は年々増加傾向にある。「いじめの大半は犯罪行為である」という認識に立てば、いじめの重大事態に迅速に対応するためにも、大阪府寝屋川市のようにいじめ対応の窓口を教育委員会事務局から切り離し、独立した窓口の設置を検討してもよい時期に来ているのではないか。

答 教育次長 国では関係省庁間の連携を強化し、内外からいじめ問題に対応することを推進している。令和5年4月の校長会で、本市の市長部局に設置されたことも家庭センターに関する情報共有を行っている。今後、教育委員会だけでなく、子ども未来課など他部局との連携を図るとともに、独立した窓口の設定について検討していきたい。



道徳授業(友情について考える)

他の質問

学校における働き方改革は進んでいるか



※ DMO：観光地域づくり法人

HPVワクチン

(子宮頸がんワクチン)の男性接種の重要性



遠田 敏子
議員

— 男女平等接種で命を守る —

問 令和5年4月から公費によるHPVワクチンの定期接種が女性のみに対してスタートしている。男性においてもHPVワクチンを接種することで男性自身のHPV感染による咽頭がん、肛門がんなど様々な疾患を予防できるだけでなく、男女ともにHPVの感染を防ぐことにつながる。市民の命を守り、子宮頸がんを撲滅するためにも男性接種は極めて重要であることから接種費用の助成について考えを伺う。

答 **市長** 国でも定期予防接種として位置づけるかの是非を検討していると聞いています。一部自治体では、国の検討結果を待つまでもなく接種しているところもあると理解している。接種費用の助成を行った場合に生じる財政負担について試算もしており、その負担はやはり大きいものがあるが、本市の姿勢として、健康寿命を延ばすことは、男女問わず非常に大切なことだと考えており、国の動向を注視し県内としてもトップランナー的な対応ができないか検討をしていきたい。

他の質問

改正道路交通法施行、男性用トイレのサニタリーボックス設置箇所の拡大



デジタル変革で

中山間地域の課題解決



後藤 啓
議員

— DXが地域を豊かな未来へ —

問 「デジタル田園都市国家構想」が地方の個性を生かし、社会課題の解決、魅力向上、地方活性化を加速する。中山間地域、飛鳥の遠隔診療、スマート農業の取り組みが始まった。デジタル変革推進に必要なことは何か伺う。

答 **デジタル変革調整監** DXの恩恵を受ける取り組みでは、高速ネットワーク通信が必須であり、利用者側では、デジタル技術の活用能力が必要となる。本市では、民間通信事業者と連携し、スマートフォン教室を開催するなど地域全体の活用能力向上に努めている。

問 デジタル基盤整備の一つにマイナンバーカードの普及促進・活用拡大が掲げられている。全国的なマイナンバーカードに関するトラブルの対応策を伺う。

答 **市民部長** コンビニ交付システムの不具合による証明書誤交付の対応では、全国で一斉点検を行ない、本市のシステムに問題はなかった。今後もカード申請から交付までダブルチェックを徹底し対策を進めていきたい。

他の質問

マイナンバーカード交付率、各種証明書交付手数料



本市における

重層的支援体制整備事業への考え



佐藤 喜紀
議員

問 少子高齢化や人口減少など社会構造が変化する中で、人々が暮らしていく上での課題が複雑に絡み合い、個人やその家族がいくつもの課題を抱えることになっている。複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の構築のため重層的支援体制整備事業が創設・施行されている。本市においては今年度より重層的支援体制移行準備事業として、庁内連携体制構築の取り組み、多機関協働の取り組みを行うこととしているが、具体的な内容について伺う。

答 **健康福祉部長** 庁内連携体制構築では、事業の本格実施に向け、関係部局を横断した職員による庁内連携会議の設置、また関係団体などの職員に対しても研修会を実施し、庁外関係機関との連携体制を構築していきたい。令和5年度より重層的支援体制移行準備事業として事業化した多機関協働事業については、6月から「地域包括支援センターにいだ」圏域でモデル事業を実施しており、9月からは市内全域で実施していく予定である。令和7年度の重層的支援体制整備事業の本格実施に向けて進めていきたい。

他の質問

表題以外の質問はありません



令和5年第3回4月臨時会 議決結果一覧

議案番号	件名	結果
報第4号	専決事項の報告について（損害賠償の額の決定）	報告
報第5号	専決事項の報告について（酒田市税条例の一部改正）	承認
報第6号	専決事項の報告について（酒田市都市計画税条例の一部改正）	承認
議第39号	令和5年度酒田市一般会計補正予算（第2号）	可決
議第40号	令和5年度酒田市定期航路事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議第41号	酒田市介護保険条例の一部改正について	可決
議第42号	酒田市国民健康保険税条例の一部改正について	可決
議第43号	酒田市固定資産評価員の選任について	同意

令和5年第4回6月定例会 議決結果一覧

議案番号	件名	結果
報第7号	令和4年度酒田市一般会計継続費繰越計算書の報告について	報告
報第8号	令和4年度酒田市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告
報第9号	専決事項の報告について（損害賠償の額の決定）	報告
議第44号	令和5年度酒田市一般会計補正予算（第3号）	可決
議第45号	酒田市税条例の一部改正について	可決
議第46号	酒田市印鑑条例の一部改正について	可決
議第47号	重要な公の施設の長期かつ独占的な利用に係る変更について（酒田市空港レンタカー駐車場）	可決
議第48号	物品の取得について（業務用パソコン等）	可決
議第49号	請負契約の締結について（酒田市立平田小学校屋内運動場予防改修工事（建築工事））	可決
議第50号	物品の取得について（除雪ドーザ）	可決
議第51号	物品の取得について（除雪ロータリ）	可決

6月定例会で審議された請願・意見書

請願	受理番号	件名	請願者	結果
	請願第2号	食料・農業・農村基本法の見直しに関する請願	庄内みどり農業協同組合 代表理事組合長 田村 久義 庄内みどり農協農政対策推進協議会 会長 田村 久義 酒田市袖浦農業協同組合 代表理事組合長 五十嵐 良弥 酒田市袖浦農協農政対策推進協議会 会長 五十嵐 良弥	採択

意見書	議案番号	件名	宛先	結果
	議会第1号	食料・農業・農村基本法の見直しに関する意見書について	衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣	可決

議 会 改 革

5月18日に本市議会「議会改革推進アドバイザー」の青森大学教授で早稲田大学マニユフェスト研究所招聘研究員の佐藤淳^{あつし}氏を講師としてお招きし、議会改革全議員研修会を開催しました。

今回の研修会では、「政策提言を仕上げよう」を題目として、他市議会での次年度予算の審査における政策サイクルが紹介され、「政策提言内容を重点的に調査し質問する」「チェックリストによる答弁内容の確認」「議員間討議による課題の抽出・総括質疑」「決議により意見文書を当局に提出し、回答を求める」など審査手順の説明を受けました。また、各常任委員会の委員長が、政策提言の内容や進捗状況を報告し、議員間で情報共有を行いました。

「対話」は、あるテーマの下でお互いの「意味付け」を確認し「新しい関係性」を作り出すプロセスであるとして、前半は議員全体で、後半は各常任委員会ごとに分かれ、発言の活性化を促す「SOUNDカード」を用いた「対話」を行いました。

SOUND(カード)セッションの流れ		
STEP1	S tatus	現状認識の共有
STEP2	O utcome	ビジョンの策定
STEP3	U nderstand	課題の深掘り
STEP4	N egative Check	懸念事項の確認
STEP5	D rive	具体策の決定

空き家セミナー

民生常任委員会

委員長 松本 国博

4月11日に空き家活用株式会社代表取締役社長のと田貴充氏をお招きし、「空き家セミナー」と題し、研修会を開催しました。今回の研修会は、酒田市と連携協定を結ぶあいおいニッセイ同和損害保険株式会社より提案のあった地域創生支援メニューを基に実施しました。



研修会には、民生常任委員会委員以外の議員、市役所担当課の職員も参加し、民間企業で行われている実際の空き家を流通させるノウハウや空き家所有者が抱えている心情、空き家のマッチングがうまくいかない構造についてお聞きしました。

「酒田に住んでいる人が、市内にもう一軒の家を求めるケースは多くない。市内でPRしても効果が出にくい」「他地域から見ると酒田にある物件も魅力的」など、全国の事例でも拠点地以外に空き家を求める傾向があるなどの事例紹介がありました。

車いすでも気軽に傍聴できます

傍聴席は段差のないバリアフリー対応となっております。車いすのまま利用可能です。傍聴でのお越しをお待ちしております。



傍聴席で難聴用受信機が利用できます

スピーカーの音声が聞きとりにくい方、補聴器を利用しているためよく聞こえない方向けに、傍聴席で音声を受信機を貸し出ししております。

利用を希望される方は、議会事務局までお問い合わせください。

誘導コイル付（電話マーク、Tマーク）の補聴器をご利用の方はそちらでも受信できます。

音声広報をご利用ください

視力の低下や視覚障がいにより、議会だよりを読むことが難しい方向けに、議会だよりを音声で聞くことのできる音声広報をお届けしています。

希望される方は、議会事務局までお問い合わせください。

酒田市議会を傍聴してみませんか

受付方法

原則どなたでも傍聴できます。

●本会議、予算・決算特別委員会

傍聴席入口前にある受付カードに住所・氏名を記入の上、受付箱に入れ、傍聴席に入場ください。

※団体で傍聴を希望する場合は、事前に議会事務局へお問い合わせください。

●各常任委員会

受付は開会予定時刻の30分前から議会事務局で行います。各委員会の傍聴定員は5名です。受付順ですが、定員を超えた場合は、抽選などにより傍聴者を決定します。



校外学習（浜中小学校のみなさん）

6月定例会中の傍聴者数
個人5名、団体2 計28名

次回定例会のお知らせ（予定）

- 会期日程 9月29日～10月20日
- 代表質疑 10月3日
- 決算特別委員会 10月4日～10日
- 常任委員会 10月11日
- 予算特別委員会 10月12日
- 一般質問 10月18日～20日
- 常任委員会活動報告、政策提言 10月20日

※詳しい日程は、9月25日に開催予定の議会運営委員会で決まります。

9月定例会 9月22日(予定)

スポット

スポットでは、酒田市議会からのお知らせを掲載しています。



アランマーレ山形女子 バレーボールチーム応援議会を 開催（6月9日）

V.LEAGUE DIVISION 1 WOMENの昇格を果たしたアランマーレ山形の選手、監督をお招きして、本会議開会前に議長から応援メッセージを送り、花束を贈呈しました。

本会議は、出席者全員が応援ユニフォームを着て行いました。

表彰（6月22日）

6月14日第99回全国市議会議長会定期総会において2名の議員が勤続表彰を受けられました。

6月定例会の最終日に当該議員に表彰状ならびに記念品の伝達が行われました。

（右から）

15年勤続表彰 市村 浩一 議員

20年勤続表彰 後藤 仁 議員



表紙写真説明

庄内出羽人形芝居

●上演：随時 ●場所：学校、福祉施設、記念式典など

江戸末期頃から雪に閉ざされた農民の娯楽として霊峰鳥海山の麓で始まった人形芝居を基に、津盛柳太郎氏によって一層の工夫、独特の芸風が取り込まれ生み出されました。曲芸のような巧みな動きで人形を操る技術は国内外で高い評価を受けています。

編集 後記

議会報編集委員会
委員 遠田 敏子

さかた市議会だより第76号を最後まで読んでいただきありがとうございます。新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類へと引き下げられ、さまざまな行事が再開されております。今年のお盆には、久しぶりに家族やご親戚の皆さまをお迎えされるご家族も多いのではないのでしょうか。これまでの経験を活かしながら感染予防にはご留意いただき、楽しい時間をお過ごしいただければと思います。編集委員一同は、今後も皆様が読みたくなる市議会だよりを目指し努めてまいります。

さかた 市議会だより

発行/酒田市議会 議長/高橋 千代夫
酒田市本町二丁目2番45号
電話 (26)5770 FAX (26)5790 e-mail:gikai@city.sakata.lg.jp

詳しい議会日程や酒田市議会の様子はスマホからもご覧いただけます。



※市議会だよりに対するご質問などがありましたら、お気軽にお寄せください。